

令和6年度 中堅教諭等資質向上研修の手引

別冊

各種様式・記入例・作成要領

令和6年4月

山梨県総合教育センター

【目次】

1. 必修研修計画書（様式2）	1
2. 所属校における研修テーマの例	6
3. 所属校における研修計画書（様式3）	7
4. 所属校における研修報告書（様式4）	13
5. 評価票の作成要領	21
6. 評価票（様式5）	23
7. 対象者追加申請書（様式6）	28
8. 事情説明書（様式7）	30
9. 免許状更新講習代替申請書（様式8）	32
10. 必修研修免除申請書（様式9）	33
11. 必修研修不参加届（様式10）	35
12. 必修研修受講記録（様式11）	36
13. 所属校における研修記録（様式12）	37
14. 他校種間交流研修の依頼書（様式13）	38
15. 他校種授業参観研修会研修計画書（様式14）	39

年度

必修研修計画書

校種		所属校名		職員番号		担当教育 事務所等	
名簿番号		職名		氏名		専門教科	

年	月	日	校長				(公印)
---	---	---	----	--	--	--	------

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修1	1						
	2						
必修2	1						
	2						
必修3	1						
必修4	1						
	2						
	3						
必修5	1						
	免許状更新講習で の代替予定	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修6							
必修7							
必修8							

所属校における研修の 実施予定年度または修了年度	令和 年度受講予定
-----------------------------	-----------

年度

必修研修計画書

校種		所属校名		職員番号		担当教育 事務所等	
名簿番号		職名		氏名		専門教科	

年 月 日
校長 (公印)

分類	枝番	必修計画書の完成と提出について					完了年度
必修1	1	<p>①前年度3月の立案・準備（提出は不要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規対象者は〔様式5〕の評価に基づき、記入例を参考にして必修研修の受講年度の計画等立案（研修修了までの計画）する。 ・2年目以降についても、前年度末の評価に基づき、必要に応じて計画を修正する。 <p>②4月に対象者は管理職と相談の上、受講する必修研修を研修会WEB申込システムに入力して申し込む。</p> <p>③申し込まれた内容が反映された必修研修計画書（本紙）は5月に総合教育センターで行われる中堅研修で配付、研修を受講しない者については電子メールまたは郵送で配布される。</p> <p>④③により配布された必修研修計画書に空欄となっている必修研修がある場合は受講予定年度を手書きで記入する（産育休等の理由により空欄が生じる場合も同様）また、所属校における研修が修了していない者は、実施予定年度を手書きで記入する。</p> <p>⑤校長は確認の上、公印を押印して、6月の提出期限までに下記の通り提出する。</p> <p style="text-align: center;"> 公立小中学校 → 所管の教育委員会へ提出 市町村（組合）教育委員会 → 総合教育センター研修指導課 県立学校 → 総合教育センター研修指導課 </p>					
	2						
必修2	1						
	2						
必修3	1						
必修4	1						
	2						
	3						
必修5	1						
必修6							
必修7							
必修8							

所属校における研修の 実施予定年度または修了年度	令和 年度受講予定
-----------------------------	-----------

1年目に全ての研修を修了する計画の場合

校種	小	所属校名	〇〇市立〇〇小学校		職員番号	0	担当教育事務所等	中北教育事務所
名簿番号	2400000	職名	教諭	氏名	〇〇 〇〇		専門教科	国語

年 月 日
〇〇市立〇〇小学校 校長 **〇〇 〇〇** (公印)

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修1	1	3101	教科指導法研修会	9/24(火)	午前	山梨大	
	2	3102	地域の教育事情	未定	未定	未定	
必修2	1	3911	コミュニケーション研修	5/28(火)	終日	総合教育センタ	
	2	3915	道德性の涵養 I	7/29(月)	午前	都留文科大	
必修3	1	3917	ユニバーサルデザインの利用 I	7/29(月)	午後	都留文科大	
必修4	1	3106	中堅教諭としての連携協働	5/16(木)	午後	総合教育センタ	
	2					総合教育センタ	
	3					総合教育センタ	
必修5	1					総合教育センタ	
必修6		402	カリキュラムマネジメント	10/17(木)	終日	総合教育センタ	
必修7		3907	代替研修会	—	(1.0)	—	
必修8		3908	代替研修会		0)	—	

校長名と年月日を記入し、公印を押す。

必修6-1, 7-1, 8-1に代替申請用の研修会を申し込んだ場合は、この欄に○が記載されている。この場合は「免許状更新講習代替申請書」[様式8]を確認書類の写しを添えて提出する。
※あらかじめ研修会WEB申込システムでの申込みが必要。

実施する年度を手書きで記入する（原則として対象となった年度に実施）。

所属校における研修の実施予定年度または修了年度 令和 **6** 年度受講予定

年 月 日
1年目に全ての研修が終わらない受講者のもの(虫食い)

校種	小	所属校名	〇〇市立〇〇小学校		職員番号	0	担当教育事務所等	中北教育事務所
名簿番号	240001	職名	教諭	氏名	〇〇 〇〇		専門教科	国語

年 月 日
〇〇市立〇〇小学校 校長 **〇〇 〇〇** (公印)

校長名と年月日を記入し、公印を押す。

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修1	1	3101	教科指導法研修会	9/24(火)	午前	山梨大	
	2			〇〇年度受講予定			
必修2	1	3912	コミュニケーション研修	6/4(火)	終日	総合教育センタ	
	2	3915	道徳性の涵養 I	7/29(月)	午前	都留文科大	
必修3	1	391	道徳性の涵養 II	7/29(月)	午後	都留文科大	
必修4	1			〇〇年度受講予定			
	2	3107	学び続けることの意義	5/16(木)	午後	総合教育センタ	
	3	3108	危機管理研修会	10/24(木)	午後	総合教育センタ	
必修5	1	501	多様な教育ニーズへの対応	8/8(木)	午後	総合教育センタ	
	免許状更新講習での代替予定	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修6				〇〇年度受講予定			
必修7				〇〇年度受講予定			
				〇〇年度受講予定			
				〇〇年度受講予定			
必修8				〇〇年度受講予定			
				〇〇年度受講予定			

手書きで記入する。

実施する年度を手書きで記入する（原則として対象となった年度に実施）。

所属校における研修の実施予定年度または修了年度 **令和 6 年度受講予定**

年度

2年目以降の受講者のもの

校種	小	所属校名	〇〇市立〇〇小学校		職員番号	0	担当教育 事務所等	中北教育事務所
名簿番号	220001	職名	教諭	氏名	〇〇 〇〇		専門教科	国語

年 月 日

〇〇市立〇〇小学校 校長 〇〇 〇〇 (公印)

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修1	1						R5年度に済
	2	3102	地域の教育事情	未定	未定	未定	
必修2	1						R5年度に済
	2						R4年度に済
必修3	1						R4年度に済
必修4	1	3106	中堅教諭としての連携協働	5/16(木)	午後	総合教育センタ	
	2						R4年度に済
	3						R4年度に済
必修5	1						R4年度に済
必修6	○	3906	代替研修会	—	—	—	
必修7	○	3907	代替研修会	—	—	—	
必修8	○	3908				—	

校長名と年月日を記入し、公印を押す。

すでに受講済の研修には受講完了年度が記載されている。

必修6-1, 7-1, 8-1に代替申請用の研修会を申し込んだ場合は、この欄に○が記載されている。この場合は「免許状更新講習代替申請書」[様式8]を確認書類の写しを添えて提出する。
※あらかじめ研修会WEB申込システムでの申込みが必要。

所属校における研修の実施予定年度または修了年度 R4修了

所属校における研修テーマの例

(1) 研修題目・事例等

研修分野	研修項目	研修テーマ等
学習指導等に関するもの	教育課程・指導計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育目標達成に向けたカリキュラム・マネジメント ・多様な児童生徒に対応した指導計画の工夫 ・児童生徒の実態に則した単元構成の工夫
	教材及び学習指導方法等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の有効活用と指導の工夫 ・身近な環境教育の工夫 ・研究授業の実施や参観を通じた指導研究 ・評価の目的と手段の研究 ・児童生徒の実態に合わせた学習指導の研究
	学習評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価による指導の改善 ・児童生徒に適した評価規準と評価方法の改善
	教科の専門的な研究等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に還元できる学術的な研究 ・児童生徒の学習意欲を高める学習材の開発・研究 ・総合的な学習の時間、道徳等に関する指導の研究
生徒指導等に関するもの	児童生徒理解について	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に合ったカウンセリング ・教科指導，特別活動等を通しての生徒理解
	生徒指導の方法について	<ol style="list-style-type: none"> 1 集団指導 ・学級・学年集団の効果的指導方法の研究 ・行事等における具体的指導方法の研究 2 個別指導 ・教育相談（進路指導）の進め方 ・生徒の効果的なほめ方・しかり方 3 校外指導の在り方
	事例研究	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動に関する事例研究
	家庭・地域との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における生徒指導体制の在り方 ・教職員の連携の在り方 ・家庭，地域との連携の在り方
	キャリア教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校におけるキャリア教育の体制 ・教職員の連携の在り方 ・児童生徒の適性や進路等 ・キャリア教育の在り方 ・情報の収集と活用
学級経営等に関するもの	学級経営の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営案の作成と評価 ・学級組織の作り方 ・学級集団の指導の進め方 ・学年・各係，全職員等との連携
特別活動等に関するもの	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に合った学級活動，生徒会活動，クラブ活動，部活動，学校行事等の指導計画の立案 ・学級活動，生徒会活動の指導と実際 ・学校行事の指導と実際 ・保健，安全指導の進め方 ・特別活動の反省と評価
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会や家庭訪問の在り方 ・保護者や地域とのかかわり方 ・関係機関の利用方法 ・学校評価と説明責任について

(2) 実施上の留意点

実際の授業実践を通して，テーマを設定して授業研究を行い，管理職及び同僚等と研究協議を行う。表に示した項目等からテーマを設定し，授業改善を目的とした教材開発・作成や生徒指導研究等を行い，校内の発表会等の内容を研修報告書（様式4）に記載する。研修テーマによっては，大学・大学院等で行われる講座を研修と扱うことができる。養護教諭・栄養教諭については，研修計画書の記入例を参考に実施するものとする。

所属校における研修計画書（教諭）

校種 または 職種	名簿番号
中	〇〇〇〇〇〇

立 中学校	対象者氏名	印
-------	-------	---

実施 回	予定日	研 修 内 容 等
1	6.〇	中堅研の意義について
2		学級経営の実践発表、基礎学力向上のための実践発表
3		生徒に適した学習評価規準の作成と検討
4		1学期実施した総合的な学習の時間の指導の反省
5		次年度総合的な学習の時間指導案検討
6		拡大校内研修授業発表及び研修会
7		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
8		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
9		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
10		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
11		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
12		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
13		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
14		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
15		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
16		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
17		危機管理体制の把握と児童の防災指導の研究
18		2学期に実施した総合的な学習の時間の指導の反省
19		国語科年間指導計画の確認と評価規準の見直しについて
20	1.〇	研修のまとめ

研修全体の目的等
 国語科・総合的な学習の時間における、生徒の実態に即した評価規準の作成と支援に結びつく評価方法の検討
 生徒の基礎基本を培う学習教材の研究
 キャリア教育における、学年に応じた指導方法の検討

所属校校長	公印
市町村（組合）教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書 (教諭)

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回	予定 日	研 修 内 容 等	
1			
2			
3			
4		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>所属校研修の日数は20回程度とし、前年度末の事前評価(評価票)、対象者との面談等、及び前ページの「所属校における研修内容の例」を参考に対象者が原案を作成し、学校長が計画を決定する。</p> <p>校種については、「小・中・高・特」のいずれかを記入する。</p> </div>	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

研修全体の目的等

所属校校長	公印
市町村(組合)教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書（養護教諭）

校種 または 職種	名簿番号
養護	〇〇〇〇〇〇

〇〇立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇	印
----------	-------	-------	---

実施回数	予定日時	研 修 内 容
1	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・ 学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と養護教諭」
2	〇月〇日（ ） 9:00～12:00	・ 教頭による講義 「危機管理と養護教諭」 ・ 教務主任による講義 「教育課程と健康教育」
3	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・ 近隣学校養護教諭の実践から学ぶ 「保健教育」
4	〇月〇日（ ） 9:00～17:00	・ 近隣学校養護教諭の実践から学ぶ 「保健室経営」
5	〇月〇日（ ） 14:00～17:00	・ 所属校での保健指導実践及び研究会
研修全体の目的等 ・ 学校教育活動全体を通して健康教育を推進する方法について学ぶ。 ・ 家庭や地域関係機関との連携の充実について学ぶ。 ・ 児童生徒の健康課題の解決に向けた支援体制の整備について学ぶ。		

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書(養護教諭)

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施回数	予定日時	研修内容
1		
2		
3		
4		
5		
研修全体の目的等		

所属校校長		公印
市町村(組合) 教育委員会教育長		公印

所属校における研修計画書（栄養教諭）

校種 または 職種	名簿番号
栄養	〇〇〇〇〇〇

〇〇 立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇	印
-----------	-------	-------	---

実施回数	予定日時	研 修 内 容
1	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・ 学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と栄養教諭」
2	〇月〇日（ ） 9:00～12:00	・ 教頭による講義 「家庭・地域との連携」 ・ 教務主任による講義 「教育課程と食に関する指導」
3	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・ 近隣学校栄養教諭の実践から学ぶ「給食管理」
4	〇月〇日（ ） 9:00～17:00	・ 近隣学校栄養教諭の実践から学ぶ「食に関する指導」
5	〇月〇日（ ） 14:00～17:00	・ 所属校での食に関する指導実践及び研究会

研修全体の目的等

- ・ 学校教育活動全体を通して食育を推進する方法について学ぶ。
- ・ 望ましい食習慣の形成のため、家庭との連携の充実について学ぶ。
- ・ 児童生徒の実態に応じたおいしくて安全・安心な学校給食の提供について学ぶ。

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書(栄養教諭)

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施回数	予定日時	研 修 内 容
1		
2		
3		
4		
5		
研修全体の目的等		

所属校校長	公印
市町村(組合) 教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回	実 施 内 容	実施日	校長 検印	
1				
2	※所属校における研修計画書（様式3）に基づき実施した内容を報告する。 「実施内容」の欄には、研修毎に作成する所属校における研修記録（様式12）を参考にし、具体的な内容の概要と研修により得られた知見等を記載する。 ※所属校における研修全般で得られた成果を「研修の成果」の欄に記載する。 ※校種については、「小・中・高・特」のいずれかを記入する。 ※所属校長は実施内容を確認し、必要に応じて指導・助言を行い記名、公印を押印する。			
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

所属校における研修報告書（教諭）

※複数枚にわたる場合は、全てに名前欄を付ける

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施回	実施内容	実施日	校長 検印
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
研修の成果			

所属校校長	公印
市町村（組合）教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（養護教諭）

校種 または 職種	名簿番号
養護	〇〇〇〇〇〇

〇〇 立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇	印
-----------	-------	-------	---

実施回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校長 検印
1	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と養護教諭」 「アレルギー疾患対策基本法」の成立や規則改正などの変化に対応し、適切に学校保健活動を実施していきたい。	
2	〇月〇日（ ） 9:00～12:00	・教頭による講義 「危機管理と養護教諭」 ・教務主任による講義 「教育課程と健康教育」 保護者対応の際の注意事項などについてのお話が参考になった。	
3	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・〇〇学校□□養護教諭による指導 「保健教育」 保健指導計画立案への関わり方や、学級担任と連携した保健指導の実践を知ることができた。本校でも積極的に取り入れていきたい。	
4	〇月〇日（ ） 9:00～17:00	・〇〇学校□□養護教諭による指導 「保健室経営」 保健室経営の工夫を指導していただいた。また、保健室経営計画における具体的な方策の取組を学ぶことができた。	
5	〇月〇日（ ） 14:00～17:00	・所属校での保健指導等実践及び研究会〇年〇組の特別活動において、「歯の健康」をテーマに保健指導を実施した。 個々の児童が健康課題を解決する方法を自己決定し、実践できるように意識して指導案を作成した。	

研修の成果

- ・養護教諭としての役割を改めて学び、保健管理と保健教育の充実に努めた。
- ・近隣学校の先生方の実践から、児童生徒の健康課題の解決を目指した指導計画立案について学び、自分の実践にも生かすことができた。
- ・教育活動全体で健康教育を推進するために、校内の多くの先生方と積極的に連携を図った。

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（養護教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校長 検印
1			
2			
3			
4			
5			
研修の成果			

所属校校長		公印
市町村（組合） 教育委員会教育長		公印

所属校における研修報告書（栄養教諭）

校種 または 職種	名簿番号
栄養	〇〇〇〇〇〇

〇〇 立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇	印
-----------	-------	-------	---

実施回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校長 検印
1	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と栄養教諭」 学校教育目標、目指す児童生徒像などを常に意識する中で、栄養教諭として適切な役割を果たしていきたい。	
2	〇月〇日（ ） 9:00～12:00	・教頭による講義 「家庭・地域との連携」・教務主任による講義 「教育課程と食に関する指導」保護者や地域の方々との連携の方法についての具体的なお話が参考になった。	
3	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・〇〇学校の□□栄養教諭による指導「給食管理」 食物アレルギー対応に関わって、校内の体制、保護者への連絡方法、調理場での対応など、組織的な対応について学ぶことができた。	
4	〇月〇日（ ） 9:00～17:00	・〇〇学校の□□栄養教諭による指導「食に関する指導」 〇〇学校の地域と連携した食に関する指導の実践例を学ぶことができた。 本校でも積極的に取り入れていきたい。	
5	〇月〇日（ ） 14:00～17:00	・所属校での食に関する指導実践及び研究会〇年〇組の学級活動の授業において、「朝食の大切さ」をテーマに食に関する指導を実施した。 指導案作成にあたっては、日常生活で実践に結び付くよう、家庭との連携についても意識した。	

研修の成果

- ・栄養教諭としての役割を改めて学び、給食管理と食に関する指導の充実に努めた。
- ・近隣学校の先生方の実践から、子供の実態に応じた給食管理の方法と給食を教材とした指導の充実にについて学び、自分の実践にも生かすことができた。
- ・教育活動全体で食育を推進するために、校内の多くの先生方と積極的に連携を図った。

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（栄養教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校長 検印
1			
2			
3			
4			
5			

研修の成果

所属校校長		公印
市町村（組合） 教育委員会教育長		公印

評価票の作成要領

1 評価の手順

【前年度3月】

- (1) 対象者は、前年度の3月に、「やまなし教員等育成指標」に基づいて自己評価を行い、評価票（様式5）に記載し、所属校の校長に提出する。
- (2) 所属校長は対象者の自己評価を参考にし、「やまなし教員等育成指標」に基づいて対象者の評価を評価票（様式5）に記載し、コピーを手元に残し、原本を山梨県教育委員会（山梨県総合教育センター）に提出する。人事異動によって対象者の所属校が変わった場合は、前任校の校長が異動先の校長へ評価票のコピーを送付する。

【研修実施年度3月】

- (3) 対象者は、研修実施年度の3月に、再度自己評価を行い、評価票（様式5）を所属校長に提出する。尚、中堅研修が未修了であり次年度も対象者となる場合は、この評価は上記(1)における次年度のための評価を兼ねるものとする。
- (4) 所属校長は、(3)における自己評価を参考にし、対象者の評価を評価票（様式5）に記載し、山梨県教育委員会（山梨県総合教育センター）に提出する。
- (5) 上記の評価票（様式5）の作成は、中堅研修が修了するまで毎年度行うものとする。
- (6) 上記(4)において、中堅研修が修了（必修研修及び所属校研修の両方が修了）する場合、所属校長は、必修研修及び所属校における研修の修了を確認し、修了確認者欄に押印して提出するものとする。
- (7) 上記(2)(4)(6)において、市町村（組合）立学校にあっては、所管の教育委員会を經由して山梨県総合教育センターに提出する。提出期限は、別に指示する。
- (8) 評価基準日に対象者が育児休業等を取得中の場合は、評価欄に「－」を記入し、特記事項欄に育児休業の期間を記載して提出する。

2 評価基準

評価については、「やまなし教員等育成指標」に基づいて、AからDまでの4段階で行うこととし、自己評価及び管理職評価の基準は以下のとおりとする。

(1) 自己評価基準

- A このような行動を頻繁に行っている。（8割以上）
- B このような行動を行っている。（5～8割未満）
- C このような行動を時々行っている。（2～5割未満）
- D このような行動をほとんど行っていない。（2割未満）
- － 育児休業等取得中のため評価が困難である。

(2) 管理職評価基準（Bを標準とする）

- A 優秀なレベルで発揮している。
- B おおむね満足のいくレベルで発揮している。
- C やや努力を要するレベルである。
- D 努力を要するレベルである。
- － 育児休業等取得中のため評価が困難である。

3 その他

- ・評価が困難な場合は、山梨県総合教育センター研修指導課と別途協議する。
- ・評価票の学校長・市町村教委教育長の印は「私印」とする。

山梨県が求める教員像			
ICTを活用し、多様な子供たちに個別最適な学びと協働的な学びを実践しながら、「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒」を育てる教員			
教員として必要な素養（全ステージ）			
豊かな人間性と人権意識 優れたコミュニケーション能力 崇高な使命感と責任感 法令の遵守 高い倫理観と規範意識 常に学び続ける力 ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力			
第2ステージ(専門性充実期・協働力養成期)において目指す姿			
教員として必要な専門性	学習指導	授業計画 ※	児童生徒の実態に応じて、各教科等の専門的知識を生かし、指導計画を立てている。
		授業実践 ※	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業を実践している。
		学習評価・授業改善 ※	適切な評価を行うとともに、学習者中心の授業に向けた改善に取り組んでいる。
	生徒指導	学級経営 ※	集団の課題に対し、同僚と協働し解決を図り、児童生徒の可能性を引き出す集団づくりを行っている。
		児童生徒理解	同僚と協働し、観察や情報収集を通じて児童生徒の理解を深め、課題解決に向け取り組んでいる。
		道徳教育	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。
		人権教育	多様性を受容し、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。
		特別支援教育	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導を行っている。
		いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。
		キャリア教育 ※	児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を、同僚と協働し育成している。
	学校運営	教育課程 ※	自校の教育目標達成に向け、カリキュラム・マネジメントに基づいた教育課程の編成・実施に参画している。
		連携・協働	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。
		学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。
		働き方改革・業務改善	働き方改革に積極的に取り組み、ミドルリーダーとして学校運営の持続的な改善を支えている。
		特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	児童生徒の個々の状況や背景を分析し、スクールカウンセラー等と連携・協働し、適切な支援をしている。
		ICTや情報・教育データの利活用	ICTや情報・教育データを適切に利活用し、校務の効率化及び児童生徒の学習等の改善を図っている。
		自ら学ぶ姿勢	ミドルリーダーとして積極的に研修に参加し、その成果を同僚と共有して、自校の教育活動全体に生かしている。
	養護教諭として必要な専門性	保健管理	家庭や地域の医療機関等との連携体制づくりを推進し、様々な課題に対応している。
		保健教育	児童生徒の健康課題解決を目指した指導計画立案に関わり、実践している。
健康相談・保健指導		心身の健康課題の早期発見に努め、解決に向けた健康相談・保健指導の体制を整備している。	
保健室経営		保健室経営計画を教職員に周知し、校内の組織運営に積極的に役割を果たそうとしている。	
保健組織活動		校内の保健組織活動を主体的に進められるよう教職員の連携をコーディネートするとともに、学校医等との連携体制を整備している。	
栄養教諭として必要な専門性	食に関する指導	指導計画の立案と推進	指導計画の立案や全校的な食育の推進体制において、教職員の連携をコーディネートしている。
		学校給食の時間における指導	給食時の指導計画を示し、学校給食の教材化を図っている。
		教科等における指導	教職員と連携して、教科等での食に関する指導の内容、評価の計画作成を行っている。
		個に応じた対応・指導	児童生徒の健康状況に応じて、教職員や保護者と連携して対応・指導を行っている。
	学校給食の管理	栄養管理	児童生徒の実態や学校・地域の特色に応じた献立を作成し、施設に合わせた調理指導をしている。
		衛生管理	給食施設や学校の課題を的確に捉え、調理から喫食までの衛生管理について指導・助言をしている。

「教員として必要な専門性」について、※の項目は養護教諭及び栄養教諭の指標から除く。

校種	小学校	所属校名	御坂成田小学校		職員番号	00123456
名簿番号	240999	職名	教諭	氏名	成田 太郎	記入注意
研修開始	R6. 4. 1	研修修了期限	R11. 3. 31	評価基準日	R6. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教員として必要な素養	豊かな人間性と人権意識・優れたコミュニケーション能力・崇高な使命感と責任感・法令の遵守・高い倫理観と規範意識・常に学び続ける力・ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力	B	A
学習指導	授業計画	B	B
	授業実践	B	B
	学習評価・授業改善	B	B
生徒指導	学級経営	B	B
	児童生徒理解	B	B
	道徳教育	C	B
	人権教育	C	B
	特別支援教育	C	C
	いじめ等への対応	B	B
	キャリア教育	C	C
学校運営	教育課程	B	B
	連携・協働	B	B
	学校安全	C	B
	働き方改革・業務改善	C	C
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		B	B
ICTや情報・教育データの利活用		C	B
自ら学ぶ姿勢		A	A

評価はすべての研修が
修了する年度まで
毎年行います

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	なし
------------------------------------	----

評価者	所属校	御坂成田小学校	校長	育成 花子	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める	総合教育市 教育委員会	教育長 教育 太郎	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました

修了確認者	所属校	すべての研修が修了したら、修了確認を忘れず をお願いします。	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

校種	小学校	所属校名	御坂成田小学校		職員番号	00123450
名簿番号	230999	職名	教諭	氏名	成田 花子	記入注意
研修開始	R5. 4. 1	研修修了期限	R10. 3. 31	評価基準日	R6. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教員として必要な素養	豊かな人間性と人権意識・優れたコミュニケーション能力・崇高な使命感と責任感・法令の遵守・高い倫理観と規範意識・常に学び続ける力・ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力	—	—
学習指導	授業計画	—	—
	授業実践	—	—
	学習評価・授業改善	—	—
生徒指導	学級経営	—	—
	児童生徒理解	—	—
	道徳教育	—	—
	人権教育	—	—
	特別支援教育	—	—
	いじめ等への対応	—	—
	キャリア教育	—	—
学校運営	教育課程	—	—
	連携・協働	—	—
	学校安全	—	—
	働き方改革・業務改善	—	—
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		—	—
ICTや情報・教育データの利活用		—	—
自ら学ぶ姿勢		—	—

は年度内に勤務実績がない場合は評価は記入しないでください。

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	例：育児休業中のためR6年度は研修受講せず 育休予定期間：R3. 10. 10～R7. 3. 31
------------------------------------	--

評価者	所属校	御坂成田小学校	校長	育成 花子	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める	総合教育市 教育委員会	教育長 教育 太郎	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票 (教諭)

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始		研修修了期限		評価基準日	R6.3.1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教員として必要な素養	豊かな人間性と人権意識・優れたコミュニケーション能力・崇高な使命感と責任感・法令の遵守・高い倫理観と規範意識・常に学び続ける力・ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力		
学習指導	授業計画		
	授業実践		
	学習評価・授業改善		
生徒指導	学級経営		
	児童生徒理解		
	道徳教育		
	人権教育		
	特別支援教育		
	いじめ等への対応		
	キャリア教育		
学校運営	教育課程		
	連携・協働		
	学校安全		
	働き方改革・業務改善		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応			
ICTや情報・教育データの利活用			
自ら学ぶ姿勢			

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票 (養護教諭)

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始		研修修了期限		評価基準日	R6. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教員として必要な素養	豊かな人間性と人権意識・優れたコミュニケーション能力・崇高な使命感と責任感・法令の遵守・高い倫理観と規範意識・常に学び続ける力・ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力		
生徒指導	児童生徒理解		
	道徳教育		
	人権教育		
	特別支援教育		
	いじめ等への対応		
学校運営	連携・協働		
	学校安全		
	働き方改革・業務改善		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応			
ICTや情報・教育データの利活用			
自ら学ぶ姿勢			
養護教諭として必要な専門性	保健管理		
	保健教育		
	健康相談・保健指導		
	保健室経営		
	保健組織活動		

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村 (組合) 教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修 (必修研修及び所属校における研修) を修了したことを確認しました。

修了確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村 (組合) 教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票 (栄養教諭)

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始		研修修了期限		評価基準日	R6.3.1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教員として必要な素養	豊かな人間性と人権意識・優れたコミュニケーション能力・崇高な使命感と責任感・法令の遵守・高い倫理観と規範意識・常に学び続ける力・ふるさと山梨の未来を担う人材を育成する力		
生徒指導	児童生徒理解		
	道徳教育		
	人権教育		
	特別支援教育		
	いじめ等への対応		
学校運営	連携・協働		
	学校安全		
	働き方改革・業務改善		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応			
ICTや情報・教育データの利活用			
自ら学ぶ姿勢			
栄養教諭として必要な専門性	食に関する指導	指導計画の立案と推進	
		学校給食の時間における指導	
		教科等における指導	
		個に応じた対応・指導	
	学校給食の管理	栄養管理	
		衛生管理	

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修(必修研修及び所属校における研修)を修了したことを確認しました。

修了確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村(組合)教育委員会	教育委員会 教育長	私印

対象者追加申請書 記入例 (様式6)

〇〇〇 発 〇〇〇 番
令和 〇 年 3 月 〇 日

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校
校長 〇 〇 〇 〇 公印

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (追加申請)

1 対象者追加申請者 教諭 〇〇 〇〇
生 年 月 日 昭和〇〇年〇月〇〇日
山梨県採用年月日 平成〇〇年4月1日

2 追加申請の理由

1 に示す者は教員としての職歴が次の通りであり、実施要項別表(2)に該当する。

- ① 〇〇県公立中学校教諭として平成〇〇年4月～平成〇〇年3月 (3年間)
 - ② 山梨県公立中学校教諭として平成□□年4月～令和◎年3月 (7年間)
- ①・②の在職期間の合計が10年

以上

担当者名
連絡先

対象者追加申請書 様式 (様式6)

〇〇〇 発 〇〇〇 番

令和 〇 年 3 月 〇 日

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校

校長 〇 〇 〇 〇 公印

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (追加申請)

- 1 対象者追加申請者 職・氏名
生 年 月 日 〇〇 〇年 〇月 〇日
山梨県採用年月日 〇〇 〇年 4 月 1 日
- 2 追加申請の理由

※対象者追加の理由例については、実施要項「別表対象者へ追加する者の基準」に則り、該当する事実を所属校長が確認し、実施細則7-(1)に則って具体的に記載すること。

担当者名
連絡先

山梨県総合教育センター所長 殿

【記入例】

- ・ 対象となった年度から5年間を産休及び育休で休業した場合の事情説明書。
- ・ 対象期間が令和2年4月1日～令和7年3月31日のときは、令和6年6月に提出することとなる。

〇〇立〇〇〇〇学校

校長 〇〇〇〇

(公印省略)

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (事情説明)

- 1 対象者 教諭 〇〇 〇〇
- 2 内容 対象最終年度での必修研修及び所属校における研修の修了が見込めない
- 3 理由 産休及び育休の取得のため

ア. 産休・育休等の期間

- ・ 第1子出産のため、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで産休
- ・ 令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで育児休業
- ・ 第2子出産のため、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで産休
- ・ 令和〇年〇月〇日から令和7年3月31日まで育児休業の予定

イ. 採用年月日 平成22年4月1日

ウ. 対象となった年月日 令和2年4月1日

エ. 対象期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日

オ. その他

- ・ 令和7年3月31日まで育児休業を取得予定のため、必修研修は令和7年度以降に受講予定。
- ・ 所属校研修においては、令和7年度に実施予定。

担当者名
連絡先

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校

校長 〇 〇 〇 〇

(公 印 省 略)

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (事情説明)

1 対象者 職・氏名

2 内容

3 理由

内容については

- ・対象期間での必修研修の未完了 (見込) 等
- ・対象期間での所属校研修の未完了 (見込) 等

理由については、以下の点を含めて詳細に明記すること。

- ア. 産休・育休等についてはその期間 (年月日)
- イ. 採用年月日
- ウ. 対象となった年月日
- エ. 対象期間 (中堅研を受けるべき5年間)
- オ. その他、必要な事項

担当者名
連絡先

免許状更新講習代替申請書

年 月 日

山梨県総合教育センター所長 殿

山梨県公立学校中堅教諭等資質向上研修実施細則5-(1)に則って、以下のとおり必修研修の代替を申請いたします。

校種		職員番号		名簿番号	
所属校名			氏名		

代替する必修研修	必修6	必修7	必修8
代替申請をする場合は○			
対応する免許更新講習	必修領域	選択必修領域 旧必修領域	選択領域

上記申請に必要な教員免許状更新講習の受講を確認しました。			
年	月	日	学校名
			校長名
			(公印)

※ 教員免許状更新講習の修了が確認できる書類を添付してください。

必修研修免除申請書

年 月 日

山梨県総合教育センター所長 殿

山梨県公立学校中堅教諭等資質向上研修実施細則5-(2)に則って、以下のとおり必修研修の免除を申請いたします。

校種		職員番号		名簿番号	
所属校名			氏名		

免除申請する必修研修の科目及び番号	免除の理由 (別表に則る場合は別表番号とその内容を記入)

上記申請に必要な研修の受講等を確認しました。

年 月 日 学校名

校長名 (公印)

※ 内容の確認に必要な書類を添付してください。

必修研修免除申請書（様式9）の作成について

(記入例)

校種	小	職員番号	○○○○○○○○○○	名簿番号	○○○○○○○
所属校名	○○小学校		氏名	○○ ○○	

免除申請する必修研修の科目及び番号	免除の理由 (実施細則・別表に則る場合は別表番号とその内容を記入)
必修2～7の 全て	実施細則・別表番号1:教職員等中央研修「中堅教員研修」の受講 受講期間:令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日
必修8-1	実施細則・別表番号36:山梨県教育委員会教育職員免許法認定講習(小学校教員講習)「教科及び教科の指導法に関する科目」1単位 単位取得:令和○○年○○月○○日 山梨大学 科目名:「情報教育とICTの授業における活用」

1 書類の作成・提出の手順

- ① 免除の対象となる必修研修は申し込まず、様式2に免除申請予定であることを記述する。
- ① 免除を申請する対象者は申請書に必要な事項を記載し、内容の確認に必要な書類を添えて所属校長に提出する。
- ② 所属校長は、申請書の記載に相違がない事を確認の上、公印を押印し、内容の確認に必要な書類を添えて提出する。(提出締切日は6月中旬。詳しくは実施手順参照。)
- 提出先 小・中学校 → 市町村(組合)教委 → 山梨県総合教育センター
高校・特支 → 山梨県総合教育センター

2 内容の確認に必要な書類について

免除の理由の内容確認は以下の書類の提出をもって行う。

- ① 研修の受講及び協議会への参加の場合
主催者からの派遣依頼、山梨県教育委員会からの決定通知、研修の修了証書等、本人の受講が確認できる書類。
- ② 公開授業での実践等の場合
実施要項、作成した学習指導案、研究協議の記録等、本人の授業実践が確認できる書類。
- ③ 別表「必修研修免除対象研修等一覧」にある教育職員免許法認定講習の受講の場合
教育委員会が発行した単位修得証明書。
- ④ 専修免許状取得による免除を申請する場合(実施細則5-(2)-ア)
免除となる必修研修等は、別途問い合わせることとする。

(様式10)

〇〇〇発〇〇〇番

〇〇年〇月〇〇日

山梨県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名

職印

中堅教諭等資質向上研修 必修研修不参加届

このことについて、本校 職名 () 氏名 () は、

下記研修会に

- 1 参加できません
- 2 遅刻します
- 3 早退します

※1～3のいずれかに○印を付ける。

校種または 職種		名簿番号		職員番号	
研修会番号		研修会名	研修会		
研修会実施年月日	年 月 日 ()				
事 由					

令和 年度

中堅教諭等資質向上研修 受講記録

校種または職種	名簿番号

【必修○-○】 ○○内容

校長印	所属校名	職名	氏名	印

- 1 実施日時 ○○○○年○○月○○日 (○曜日) 時 分～ 時 分
- 2 研修内容

(例) ① 講演 ② 大学院研修等還流報告・研究協議

- 3 内容及び所感 (具体的に記述してください。)

本研修の内容について 右のいずれかに○印をつけてください	A. 満足した B. どちらともいえない C. 満足しなかった

提出締切日：受講後2週間以内 提出先：研修指導課 メール送付先：chukenken@kai.ed.jp

提出方法：写しを郵送またはPDFの電子メール添付

電子メールの場合はファイル名を「名簿番号氏名必修○○受講記録」としてください。

※ 校長印は私印を押印してください。

所属校における研修記録

- 1 研修対象者 所属 職・氏名

- 2 実施日時 ○○年○月○日（○曜日） ○時○○分～○時○○分

- 3 研修内容 ○○○について

- 4 指導者 職・氏名

- 5 実施方法・実施内容

- 6 使用した資料等の添付

- この記録は年度末の本人及び管理職の事後評価および、実施校における次年度等の研修指導の参考のために作成するものとする。（県教委への提出は不要。）研修内容の県教委等への報告については別紙・所属校における研修報告書〔様式4〕を作成し、提出するものとする。
- 総合教育センター等における必修研修の受講記録は、別途その様式に従うものとする。
- この記録は、コピーを1部作成し、原本を本人が保管し、コピーは実施から5年間実施校にて保管しておくものとする。

(様式 13)

〇〇発 〇〇号
令和 年 月 日

(研修依頼先所属長) 殿

中堅研修対象者所属校長 (公印)

令和〇年度中堅教諭等資質向上研修 他校種授業研究研修会について (依頼)

このことについて、令和〇年〇月〇日に行われる貴校研修会を中堅教諭等資質向上研修必修 1-2 研修会として本校教諭〇〇 〇〇が研修いたします。

つきましては、貴職をはじめ関係の方々から御指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 研修の日時及び期間

年 月 日 時 分 から 時 分まで

2 研修内容

※参観授業 (学年・担当教員等) 及び研究協議等、具体的な研修内容を記入すること。

3 その他

研修に際し用意するもの等ありましたらご指示ください。

※本書式例は、研修を依頼する際に必要に応じて研修先の学校に送付してください。

中堅研対象者 学校名・氏名

電 話

F a x

E-mail

提出期限 8 月末日

**必修 1-2
他校種授業研究研修会研修計画書**

他校種で研修する場合

校種	名簿番号
高校・数学	240000

山梨県立 ○○高等学校	対象者氏名	○○ ○○	印
-------------	-------	-------	---

必修研修計画書(様式2)に記載されています。

研 修 日 時	研 修 実 施 校 等
令和○年 7 月 ○ 日 (○) 14:20~16:30	○○市立○○小学校
研修内容 (※授業参観及び研究会等が含まれていること) 13:50~14:35 授業参観 (4年生 算数) 14:55~16:55 校内研究会 ・授業者より ・質疑 ・研究協議 (グループ) ・発表 (グループ毎) ・指導・助言 (指導主事より) (詳細は別途資料の通り)	

・研修実施校が示している研修内容記入する。
 ・要項等資料がある場合は写しを添付する。
 ・授業参観のみは不可です。

上記の他校種授業参観研修会の計画について確認しました

研修日より前に確認してください。

令和○年 6 月 ○ 日

私印可

山梨県立○○高等学校 校長 ○○ ○○ 印

提出期限 8月末日

**必修1-2
他校種授業研究研修会研修計画書**

総合教育センターで研修する場合

校種	名簿番号
高校・数学	240000

山梨県立 ○○高等学校	対象者氏名	○○ ○○	印
-------------	-------	-------	---

必修研修計画書(様式2)に記載されています。

研 修 日 時	研修実施校等
令和○年2月	山梨県総合教育センター
研修内容 総合教育センター研究大会 研究大会の全ての行事(研究大会の全ての行事に参加、内容の詳細は実施要項で確認し、発表、協議は他校種のグループに参加すること)	

上記の他校種授業参観研修会の計画について確認しました

研修日より前に確認してください。

令和○年 6月 ○日

私印可

山梨県立○○高等学校 校長 ○○ ○○ 印

必修1-2

他校種授業研究研修会研修計画書

校種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

研修日時	研修実施校
研修内容（※授業参観及び研究会等が含まれていること）	

上記の他校種授業研究研修会の計画について確認しました

令和 年 月 日

立 学校 校長 印

問い合わせ先

山梨県総合教育センター学校教育支援部研修指導課

TEL 055(262)5871 FAX 055(262)5572

E-mail chukenken@kai.ed.jp